

## 第2回常任理事会議事録

日 時 平成 21 年 5 月 19 日 (火) 19 時～ 21 時 20 分  
会 場 宮崎市郡医師会臨床検査センター 食堂  
参 加 日野浦 津曲 岩田 日高 田邊 佐藤 花牟禮 内山 松尾 伊豆 清山  
議事録担当: 伊豆

- ・第1回常任理事会議事録確認
- ・報告事項

### 1、会長挨拶

- ・日臨技標準化事業「全国で広く共有できる規準範囲の設定」について  
全国で 1 万人規模の臨床検査・病院関係者のボランティア (20 ～ 65 才の健常男女) の協力を頂き、全国 165 基幹施設を中心に測定して基準範囲を設定する計画中である。ボランティアを 1 施設あたり 80 名以上募り、臨床化学・血液・免疫の 40 項目にわたる検査項目について基準範囲を設定することに関し、各都道府県技師会と基幹施設に協力のお願いとアンケート調査書がきた。  
基幹施設で古賀総合病院は試薬代が解決しないと不可能、職員検診の時期と重なればボランティアも集まるであろう、国立宮崎東病院はこの企画に賛同できない、大学附属病院は病院長の許可が下り、試薬代が確保できれば可能である旨を、日臨技に回答した。  
担当者としては基幹施設が独自に参加するのではなく、技師会としての組織形態を尊重したい。  
6 月 13 日ワーキンググループの会議後、日臨技理事会で審議される予定。  
宮臨技としては、この企画に賛同するが、予算面など日臨技の方針が決定した上で、今後の方向性を検討したい。

### 2、事務局

#### ①事務

- ・一般検査研修会の委託金が日臨技から送金され、担当者に渡した。
- ・4 月 18 日開催の研修会参加者 JAMTIS 登録ミスについての詫び状を発送した。  
現時点で、参加者からの返答はない。また、事業の計画・報告、研修会に係る予算・決算報告について、定期総会と総会後の説明会でプロモーションガイドラインも含め、研究班長と地区理事に周知徹底を行う。
- ・総会議案書中、病理・細胞診研究班の事業報告に誤りがあったので、総会受付で正誤表を配布する。
- ・「平成 21 年度形態検査部門一般検査分野研修会」実務委員委嘱状を発行する。
- ・同研修会で宮臨技所有 PC2 台をプレゼン用に、1 台を受付用に貸し出すこととし、所定の借用書の提出を求める。
- ・平成 21 年 6 月 27 ～ 28 日、鹿児島市で開催の第 34 回日本超音波検査学会について、宮臨技ホームページへのリンク掲載依頼がきている。(了承された。)
- ・日本臨床検査同学院より、宮臨技ホームページへのリンク掲載依頼、「緒方富雄賞」、「京都臨床化学サマー研修会」、「一級臨床検査士認定試験」の案内がきている。「緒方賞」の推薦については、同学院会員であることが
- ・定期総会委任状の回収が遅れている。現在 50 名程度。地区理事から施設に連絡をとり、提出を求める。
- ・日臨技からカットバンが送られてきたので、健康ふくしまつり等の公益事業の際、PR 活動として一般に配布する。

#### ②庶務

- ・4 月開催の生涯教育は、「LOVE49 プロジェクト 子宮がん検診啓発活動」、「一般検査勉強会」の 2 件。  
一般検査勉強会の JAMTIS 参加者登録が、参加者からの連絡が遅れており、登録未完了状態。
- ・平成 21 年度会費未納者は、5 月 19 日現在 38 名。

#### ③会計

- ・賛助会員から会費 8 社、広告費 2 社の入金があった。
- ・定期総会の平成 20 年度会計報告について  
一般会計収支計算書中、寄付金収入 (広告費) と比較して、機関誌発行費の実績額が下回った。  
「前期繰越収支差額」の予算額と執行額に、4 月以降の会費納入と日臨技への送金時期のズレにより相違が生じているが、残高証明書が監査を受けている旨を総会で説明する。会費 1 万 8 千円のうち、一人あたり 1 万円を日臨技への納入金として報告する。

- ・定期総会の平成21年度予算案について  
支出の部・管理費の家賃は、事務所マンションの管理組合費で、年間約29万円でこれに固定資産税がかかる。
- ・残余金が500万円程あるが、会員を増やす為に会費値下げの案もある。しかし、一時的で再値上げとなる可能性が大である。その使用用途については、今後の宮臨技50周年記念行事や、研究班の活動費助成、精度管理事業などで有効に活用する方針。
- ・研究班活動費の増額について  
研究班により活動内容に差がある。活動費を一律増額するよりも年間計画企画書・予算書の提出により、必要に応じ理事会で審査し活動助成金の予算から補助をする。

### 3、組織

- ・定期総会での事業報告について、地区理事に出欠の確認と、総会終了後の説明会の案内をする。
- ・平成21年度「宮崎県医療功労者知事表彰」は推薦者無しで、県に回答した。

### 4、学術

- ・日臨技標準化事業「全国で広く共有できる規準範囲の設定」について、会長と基幹施設担当者からアンケート調査の回答をした。
- ・一般検査全国研修会の前後に開催する、セミナーの広報について  
県医師会、看護協会へ広報案内をしたい。(了承された。)  
宮臨技会長の開会挨拶については、セミナーがメーカー主催のため見直しをする。

### 審議事項

#### ①定期総会について

日時;平成21年5月31日9時30分開始、会場;宮崎市郡医師会視聴覚室

#### ・役割担当

##### 1)横断幕・垂れ幕・式次第

総会については式次第のみ作成。(担当:伊豆理事)

特別講演の垂れ幕は業者に依頼。浅田先生の肩書き表記を再確認する。

2)集合時間 8時30分

3)受付担当 伊豆理事、清山理事

4)進行担当 森田技師(宮崎市郡医師会臨床検査センター)

5)開会の辞 津曲副会長

6)議長 野口技師(宮崎江南病院)、長友技師(県立宮崎病院)

7)書記 永野技師(古賀総合病院)、猪崎技師(宮崎大学附属病院検査部)

8)議事録署名人 山下技師(池井病院)、春口技師(健康づくり協会)

9)会長挨拶 日野浦会長

10)事務局 日高事務局長

11)組織報告 佐藤理事

12)学術報告 松尾理事

13)閉会の辞 津曲副会長

14)音響・照明 花牟禮理事

15)特別講演座長 日野浦会長

その他 講演で使用するPCについて、確認・準備をする。受付用にもPCを用意する。

#### ②学術及び地区活動企画、予算書・決算書について

定期総会終了後、研究班班長と地区理事に研修会等の企画・予算から事業・決算報告までの作業と、プロモーションガイドラインについて周知徹底を行う。(別紙参照)

#### ・メーカーとの共催について

プロモーションコードとの兼ね合いで、非会員から研修会参加費を徴収できないので、できるだけ経費の掛からない研修会を企画する。

## 別紙資料

### 【学術企画申請書・予算書・決算書について】

#### 作業手順

- ①研究班長は、企画申請書・予算書を学術担当副会長または学術理事に提出する。
- ②地区理事は、企画申請書・予算書を組織担当副会長または組織理事に提出する。
- ③研究班長・地区理事から提出された企画申請書・予算書は学術・組織担当副会長が確認し、理事会に挙げるか判断する。(適当でない場合は、研究班長・地区理事に再度作成依頼する。)
- ④企画申請書・予算書を宮臨技常任理事会等で審議し、承諾されたら学術・組織理事から研究班長・地区理事にその旨連絡する。
- ⑤研究班長及び地区理事は、講師依頼文書・講師派遣依頼文書・機器を借りるのであれば、機器借用文書を作成し(ひな形参考)事務局長に提出する。
- ⑥事務局長は、提出された文書を校正し文書番号をつけ、会長の決裁後、公印を押して発送する。(メールにて効率化を図る)
- ⑦研究班長等は、会員への案内文書・研修会資料の印刷を事務局長に依頼する。
- ⑧事務局長は、印刷等を当会事務員に依頼する。
- ⑨研修会終了後、研究班長・地区理事は学術・組織担当副会長に決算書を提出する。

### 【研究班・地区活動について】

- ①研究班・地区理事主催の勉強会にかかる費用は原則として研究班及び地区活動費で運営するものとする。

#### 補足

- (1)宮臨技研究班主催の勉強会・研修会に参加される非会員は、参加費 3千円を徴収する。
- (2)メーカーが会場費・講師謝礼等開催費用を持つ場合、宮臨技は共催・後援とし、共催・後援依頼を宮臨技にする。  
《医薬品プロモーションガイドラインを必読し、プロモーションコードに係る行為または運営はしない。》
- ②企画した勉強会を会報・HPに掲載したいときは、開催月の前月末までに事務局長へ掲載依頼する。但し、会報は毎月10日に発行するので、月の1～10日に開催するときは、前々月末に依頼する。
- ③JAMTISへの勉強会登録は、勉強会開催前に行う。終了後は参加者をJAMTISに登録する。(期限を過ぎると登録は認められないので、登録を忘れたときは、事務局長へ連絡する。)また、参加者名簿を事務局に提出する。